

歴史の散歩道

(55)

平泉寺の 大火と大塔の勧進

平泉寺が大火で焼失したという最初の記録は『立川寺年代記』にあります。この書物の建保七年(一一二九)の条に「閏二月、平泉寺焼上」とあり、この記事が平泉寺が炎上したという最初の記録です。義経・弁慶の一行が平泉寺の観音堂を訪れたのは文治三年(一一八七)ですから、その三二年後ということとなります。

この平泉寺の建物造営の記録は、鎌倉遺文の「一四七六二号 若狭志積浦廻船人等重申状土代」の文書の中に「一通 平泉寺大塔聖人号勧進点定物不日可糺返由事 七月廿七日」と書かれています。この文面から読みとれることは、平泉寺大塔の造営のために平泉寺の勧進聖が三国の港において、平泉寺の大塔の建立のために点定した物を、志積浦の廻船人が不日に返却させたということに關する、弘安五年(一一八二)七月廿七日の文書であるということです。点定とは船に積んであった米を、津料として差し押さえることです。このことは、日本海海運の要衝である三国湊において、すべての船か

ら入船料として津料を課し、時にはこれらを寺社造営の資金にすることが、鎌倉幕府あるいは荘園領主である延暦寺から認められていました。平泉寺の建物造営の費用を集める方法として、勧進聖の手で行われたことを示します。

『白山社の菜』の中宮古図を読むと、白山神社境内の御手洗池をはさんで参道の右手の高台に大塔があり、その基壇が今も残っています。この建物は三間四面からなる三重塔で、若狭の明通寺や加賀の那谷寺にあるような建物でした。屋根は檜皮葺であり、そり上がった軒先には、風鐸がさげられています。三重の屋根の頂には相輪がのせられ、上から宝珠・竜車・水煙があり、そして宝鎖で軒先とつながられています。

勝山市文化財保護委員 佐野光臣



交通事故発生状況		
高齢者 = 65歳以上		
件数内訳	平成17年6月末	前年比
総件数	242件	- 25
人身事故 (うち高齢者)	42件 (10)	- 18 (- 11)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	- 1 (0)
傷者	59人	- 17
物損事故	200件	- 7

7月の納税	
固定資産税	2期
国民健康保険税	1期(全期)
納期限	8月1日(月)
口座振替日	7月26日(火)

休日・祝日救急当番医		
診療時間 A 09:00 ~ PM5:00		
7/24 (日)	坪川 医院	89 - 1035
7/31 (日)	木下 医院	87 - 3333
8/7 (日)	石川 医院	89 - 1008
8/14 (日)	福井社会保険病院	88 - 0350
☎ 消防署(88 - 0400)		

人口の動き							
	5月末現在	自然動態		社会動態		6月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,343人	10	- 11	9	- 22	13,329人	- 14
女	14,600人	9	- 8	34	- 36	14,599人	- 1
合計	27,943人	19	- 19	43	- 58	27,928人	- 15
世帯数	8,131世帯					8,131世帯	0

毎月第3日曜は **家庭の日** 太陽の下でからだをきたえよう



編集後記

就業体験で市役所を訪れた勝山南高校生のみなさんには、「出会い・ふれあいコーナー」の担当として、取材をしていただきました。フレッシュな一面を感じていただけましたでしょうか。

入梅がかなり遅れましたが、「かちやまワッショイ」のチーム紹介などを掲載した「勝ち山夏物語特集号」の発行(7月28日予定)される頃には梅雨が明けているだろうか、梅雨明けを待ちわびるこの頃です。「恐竜エキスポふくい2000」から5年が経ったことを記念して、今月17日から2週間、長尾山総合公園でメモリアルイベントが開催されます。お楽しみに。



火災発生

88 - 5100(テープ吹き込み)